

学校関係者評価を受けての次年度の取り組みについて

東根市立大富小学校

(1) はじめに

学校関係者評価委員の皆様には、何度も学校に足を運んで、授業参観をはじめ各学校行事まで参観していただいた。内部評価を受けた学校関係者評価の話し合いの中で、学校と一緒に良い学校を作っていこうという姿勢で評価していただいたことに本当に感謝している。

いただいた学校関係者評価報告書の中にある数点あった課題については、全職員の課題として今年度から取り組んでいきたい。具体的には学校長がテーマを設定し、代表の職員からプレゼンテーションをしてもらう。さらに課題を具体的にして来年度の教育課程を編成していく。ここでは、職員のプレゼンテーションから具体的にやってきた次年度へ生かすことについて紹介する。

(2) 次年度に生かすこと

① 付きたい力の明確化と体験活動のネットワーク化

どっこ水、学校畑、樹木園とたいへん恵まれた環境をうまく生かしているという評価をいただいた。これらの活動がどんな力になっているのか改めて考えることでさらに有効な教育活動になるのではないかと考えている。合わせて学校行事や児童会活動も付きたい力を明確にして取り組んでいく。また、いろいろ行われている地域学習をネットワーク化することでゆとりが生まれ、さらに効果があがるのではないかと考えている。以下に具体的な取り組みを示す。

- 1) 栽培活動・体験活動は生活科や総合的な学習で行っているが、どのような力になるのか評価基準を明確にして取り組む。
- 2) 学校行事、児童会活動の計画の段階で子供たちのゴールの姿（最終評価基準）を記載して実施する。
～具体例～
 - ・稲作を通して学んだことをパワーポイントにしてまとめ、学習発表会で披露する。
 - ・感謝の気持ちを表す会を自分たちで計画して実行する。
- 3) 地域学習に関わるさまざまな活動を「大富塾」としてまとめ、一貫したねらいにする。ねらいに合わない活動は見直す。

② カリキュラムの見直し

学習指導要領の改訂が行われようとしている。外国語が週に1時間になるということで、総合的な学習の見直しを図らなければならない。このことに合わせて教育課程全体を見直していきたい。

- 1) 漢字・計算プリントソフト購入を受け、さらに効果のある取り組み方を研究する。
- 2) 英語を含めた総合的な学習の内容を見直す。
- 3) 児童会活動の時間の確保を行う。児童会活動と生活部の取り組みのリンクを行う。
- 4) 読書の時間とドリルの時間の取り方を再検討していく。

③ 運営組織の再構築

校務分掌が適切であると評価しているが、見直しも必要であるという声を受け、運営組織の再構築を行う。

- 1) ねらいと活動の整合性を図り、どんな力をどんな活動でつきたいのか確認する。
- 2) ①で示した活動のねらい（どのような力になるのか）を検討する組織を必要に応じて作る。

④ 現職教育の整備

教師にとって必要なものは使命感（自分に課せられた任務を果たそうとする気概）と幅広い見識である。これらが高めるために現職教育の整備を行う。

- 1) 使命感を養成するために
 - ◎ 教師力を高める。

授業力・・・子供たちの「学び」を大切にした授業づくり

校内研修

子供理解力・・・子ども観，コミュニケーションスキルの向上

子どもを語る会

プロジェクトチーム・情報の共有化→方針の共通理解

学級づくりの力・・・集団に対する理解力，組織化のスキル向上

研修日を設定し，QUTテスト・エンカウンターなどの研修を行う。

人格的資質・・・人間性，市民性を備えた人間になる。

ボランティア精神をもつ。夏休みのトイレ掃除など（職員作業）

精神的・時間的なゆとりを保証する。

◎ 同僚性を高める。

支え合い，協働する力

・ 自己決定，自己責任の保障・・・やりがい

各自のアイデアや実践を尊重しつつ相互の連携を深めていくことで，個人も組織も高める。

お互いの実践を共有し，その情報を自分の実践に生かす。（校内研修・生徒指導）

・ 一人一講座

自分の得意なことを職員に伝授する会を設け，ともに学び，見識を広げる。

◎ 教員評価・学校評価

評価に参加する心づもりで，元気が出る評価にする。（がんばりをわかってもらえる機会）

PDCA

2) 幅広い見識をもつために

・ モラル研修

職員会議時に，当番制でモラル研修を行う。

・ 1日研修

夏休みに研修日を設定し，外に出かけて全員で研修を行う。

・ 山形のスポーツ・文化を楽しむ。

地元にある素晴らしい文化を楽しみ，自分たちの住む地に誇りを持てるようにする。

元気になるために

・ 水曜日の定時退勤を徹底する。

・ 山形の食文化を考える。

畑で野菜を育てて食す。（いも煮会，ひっぱりうどん・・・）

・ 大富健康クラブを設立する。（PDCA）

⑤ 教室配置の検討

ここ2年間、入学者が40人を超え2クラスが続いたが、来年度は37人の1クラスになる。2年生3年生が2クラスという変則的な学年構成になるので、教室配置の検討が必要である。

1) サブ教室の移動と整備

2) バードウォッチングルームの移動と理科整備室の整備

(3) おわりに

学校関係者評価委員の皆様には大富小学校のためにいろんな助言をいただきました。最近の保護者の様子を見たいということで授業参観においでいただきました。参観の保護者の態度を見て注意していただいたこともあり、学校のために何かできることは何でもやりたいというありがたい気持ちを感じました。地域の学校は地域が作るという気構えを見せていただき、本当に心強く感じました。委員の皆さんの期待に応えられるように職員一同取りくんでいきたいと思っています。